

第 48 回日本口蓋裂学会総会・学術集会のご案内

第 48 回日本口蓋裂学会総会・学術集会
会 長 奥本 隆行
藤田医科大学形成外科 教授

第 48 回日本口蓋裂学会総会・学術集会を下記の要領で開催いたします。
皆様のご参加をお待ちしております。詳細は大会 HP : <http://jcpa48.umin.jp/>でご確認ください。

- I. 会 期：2024 年 5 月 30 日（木）・31 日（金）
- II. 会 場：名古屋コンベンションホール
〒453-6102 愛知県名古屋市中村区平池町 4-60-12 グローバルゲート
- III. テーマ：戮力協心（りくりょくきょうしん）の口唇口蓋裂医療
－ One Team for Cleft Lip and Palate －
- IV. プログラム概要：
 - 招待講演 1：（同時通訳有り）
Dr. Joseph E. Losee（University of Pittsburgh）
“Insight on treatment for the cleft palate”
 - 招待講演 2（同時通訳有り）
Dr. Riccardo F. Mazzola（University of Milan）
“VPI. Natural History and Treatment options, with particular reference to the regenerative approach”
 - 教育講演
木庭 愛（こども家庭庁成育局母子保健課）
「母子保健行政の最近の動向について」
 - シンポジウム・パネルディスカッション
形成外科・口腔外科合同シンポジウム 1 「口唇口蓋裂特有の顔貌から脱却するために－するべきか避けるべきか、初回手術でどうする？」
臨床遺伝科・小児科合同シンポジウム 「口蓋裂をきたす先天異常症候群のゲノム医療」
耳鼻咽喉科シンポジウム 「口蓋裂診療における耳鼻咽喉科医の関わり」
心理社会的支援シンポジウム 「口唇口蓋裂治療チームに今できる心理社会的支援とアセスメント：今後の心理社会的支援にむけて」
言語シンポジウム 「口唇裂・口蓋裂患者のライフステージごとの言語管理・支援」
形成外科・口腔外科合同シンポジウム 2 「口唇口蓋裂特有の顔貌から脱却するために－二次手術をいつ、どこまで踏み込んで行うか－」
ナーシング シンポジウム 「限りなく広がる未来へ～子どもから教えられること～」
小児歯科・リハビリ科合同パネルディスカッション 「口唇口蓋裂患児の乳幼児期における口腔管理・口腔機能の育成」
口腔外科・矯正歯科合同パネルディスカッション 「思春期成長終了時における顎裂骨移植部の最終処置」
 - 一般口演・示説
 - 口唇裂・口蓋裂認定師申請単位認定セミナー
 - 第 2 回 言語聴覚士（ST）の集い～聴覚判定について語り合おう！
 - ランチョンセミナー

なお、日本口蓋裂学会では、2019年より認定師制度を設けております。口腔外科、形成外科、矯正歯科など学会専門医もしくは認定医を取得し、口唇裂・口蓋裂治療の経験を有される先生方に認定師を取得していただき、口唇裂・口蓋裂治療の普及向上を図っております。是非、将来の認定師取得を目標に本総会・学術集会にご参加いただければと思っております。

<第48回日本口蓋裂学会総会・学術集会 運営事務局>

有限会社トータルマップ内

〒675-0055 加古川市東神吉町西井ノ口601-1

TEL：079-433-8081 FAX：079-433-3718 E-mail：jcpa48@totalmap.co.jp

主 催：藤田医科大学 形成外科

責任者：奥本 隆行（会長）

近藤 俊（事務局長）

〒470-1192 愛知県豊明市沓掛町田楽ヶ窪1-98